平成 26 年度　小・中学校における環境教育の取組み

国語科・社会科・総合的な学習の時間（第５学年）

テーマ〖 田尻の川と海について考えよう！！ 〗

田尻町立小学校

≪学習のねらい≫

・川の汚染の現状や汚染の原因を知り、川の環境を良くするために自分たちができることを考える。

・漁業体験やアマモの種植え体験を通して、漁業への関心や興味を高め、環境再生を目指す活動への理解を深める。

≪取組みについて≫

①　物語教材「５月になれば」〔国語科〕

・物語「５月になれば」の舞台になっている北海道のサクルー川について、本文中の自然豊かな川の情景を読み取る。また、インターネット等を使い、サクルー川についての情報を集め、今現在も物語の舞台になるような自然を残すことができている理由を考える。

②　田尻川クリーン作戦〔総合的な学習の時間〕

・アドプトリバーの指定を受けている地域の川の清掃活動に参加することによって、ごみの多い状況を知るとともに、地域のボランティア活動によって自分たちの住む町の環境が良くなっていることに気づく。また、ひとりの力でできることは小さくても協力することが大切であることや、地域活動に参加することの意義を理解する。

③　漁業体験〔社会科〕

・地域の漁業協同組合に協力していただき、魚が獲れた時の喜びや仕事の大変さを知る。また、地元の海でどのような魚介類が獲れるのか、昔と今とで魚の獲れる量に違いがあることなども教わり、生き物や漁業への関心を持ち、海の環境について考えるきっかけとする。

④　アマモの種植え〔総合的な学習の時間〕

・アマモ種子バンクに協力していただき、アマモ播種シートの作成を行う。アマモが生育し、アマモ場が形成されれば、海の生き物たちのゆりかごとなって様々な生き物が住めるようになることを学習し、海の環境、生態系の保全・改善を目指す活動への理解を深める。

≪活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー　等≫

・ＮＰＯ法人田尻町まちづくり住民会議（田尻川クリーン作戦）

・田尻町漁業協同組合（漁業体験）

・ＮＰＯ 法人アマモ種子バンク（アマモの種植え）

≪成果≫

・１学期は国語の物語教材、２学期は社会科の水産業の学習をきっかけに総合的な学習へつなげることができたので、児童にとってもスムーズな導入となった。また、学習後は総合的な学習で得た知識や興味を各教科の内容を深めることにつなげることができた。

・クリーン作戦や漁業体験、アマモの種植えの体験活動を自分たちの住む地域で行ったことで、自分たちの地域の環境を守るためにできることを一人ひとりが真剣に考えることができた。